

令和8年度

国語

中間考査

1. 試験開始前のルール

合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。開始の合図があったら、まず解答用紙に氏名などを正しく記入してください。印刷の不備など異常がある場合は、すぐに申し出ましょう。

2. 試験中のマナーと質問

試験中は私語厳禁です。印刷が読めない場合や文房具を落とした場合は、だまって手を挙げて監督者の指示を待ってください。問題の内容に関する質問はできません。

3. 解答作成の注意点

文字は丁寧かつ大きく、濃くはっきりと書いてください。紛らわしい文字や、習った漢字をひらがなで書いた場合は減点の対象となります。正々堂々と取り組み、不正行為は絶対にしないでください。

4. 試験終了時の対応

「やめ」の合図があったら、すぐに筆記用具を置いてください。解答用紙の回収が終わるまで、静かに席で待ちましょう。

一、次の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ①窓の外の景色をナガめる。 ②計画をジツコウに移す。
- ③勇気ある行動をササンする。 ④伝統文化をケイシヨウする。
- ⑤事件のシンソウを究明する。 ⑥非常にフクザツな構造だ。
- ⑦相手の意見をキヨフル。 ⑧運動会でシュシユンを競う。
- ⑨コウカイしても始まらない。 ⑩会議で資料をハイフする

二、次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。

- ①富士山の山麓に広がる原野。 ②謙虚な姿勢で学ぶ。
- ③自分の能力を誇示する。 ④情緒あふれる街並み。
- ⑤普遍的な価値観を持つ。 ⑥文章を推敲する。
- ⑦成功を渴望する。 ⑧公園を散策する。
- ⑨責任を転嫁してはいけない。 ⑩自然の驚異を感じる。

三、次の熟語の構成（組み立て）として最も適切なものを、あとの選択肢から選び記号で答えな

- ①登山 ②挙手 ③読書 ④寒暖 ⑤急行

「選択肢」

ア、似た意味の漢字を重ねたもの
イ、反対の意味の漢字を重ねたもの
ウ、上の漢字が下の漢字を修飾するもの
エ、下の漢字から上の漢字へ「～を・～に」と返って読むもの
オ、前の漢字が打ち消しの意味を表すもの

四、次の意味にあてはまる四字熟語を、後の語群から選び記号で答えなさい。

- ①準備が隅々まで行き届いていて、手ばかりがないこと。
- ②互いの気持ちがぴつたりと一致すること。
- ③自分のした悪い行いの報いを、自分自身が受けること。
- ④目先の差にのみ囚われ、実質が同じだと気づかないこと。
- ⑤周りの人の意見を聞き流し、少しも心に留めないこと。

「語群」

ア、意気投合 イ、馬耳東風 ウ、朝三暮四
エ、用意周到 オ、自業自得

えたいの知れない不吉な塊が私の心を始終圧おさえつけていた。焦躁しようそうと言おうか、嫌悪と言おうか——酒を飲んだあとに宿酔ふつかよいがあるように、酒を毎日飲んでいると宿酔に相当した時期がやって来る。それが来たのだ。これはちよつといけなかった。結果した肺炎はいせんカタルや神経衰弱がいけないのではない。また背を焼くような借金などがいけないのではない。いけないのはその不吉な塊だ。以前私を喜ばせたどんな美しい音楽も、どんな美しい詩の一節も辛抱がなくなつた。蓄音器を聴かせてもらいにわざわざ出かけて行つても、最初の二三小節で不意に立ち上がつてしまいたくなる。何かが私を居堪いたたまらずさせるのだ。それで始終私は街から街を浮浪し続けていた。

何故なぞだかその頃私は見すばらしくて美しいものに強くひきつけられたのを覚えている。風景にしても ① だとか、その街にしてもよそよそしい表通りよりもどこか親しみのある、汚い洗濯物が干してあったりがらくたが転がしてあったりむさくるしい部屋が覗のぞいていたりする裏通りが好きであつた。雨や風が蝕むしばんでやがて土に帰つてしまふ、と言つたような趣きのある街で、土塀どべいが崩れていたり家並が傾きかかつていたり——勢いのいいのは植物だけで、時とするとびつくりさせるような向日葵ひまわりがあつたりカンナが咲いていたりする。

五、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問一 傍線部「えたいの知れない不吉な塊」とありますが、筆者はこの正体を説明するために、どのような例え（比喩）を用いていますか。文章中から十字以内で書き抜きなさい。

問二 空欄「①」にあてはまる言葉を、文章中から五字で書き抜きなさい。

問三 傍線部「何かが私を居堪（いたたま）らずさせるのだ」とありますが、この時の筆者の心情として最も適切なものを、次から選り記号で答えなさい。

ア、何かに追いかけられているようで、恐ろしくてたまらない。

イ、じつとしていられず心が落ち着かず、居場所がない。

ウ、周囲の視線が気になり、恥ずかしくていられない。

エ、自分の借金や病気のことが心配で、夜も眠れないほど苦しい。

問四 第二段落の最後にある「向日葵（ひまわり）」や「カンナ」の描写について、筆者がこれらを「びつくりさせるような」と表現したのはなぜですか。最も適切な理由を選びなさい。

ア、街が崩れ衰退する中で、植物だけが対照的に生命力に溢れているから。

イ、裏通りの日陰に、ありえないほど巨大な花が咲いていたから。それらの花が、以前愛した「美しい音楽」のように華やかだったから。

エ、崩れた土塀の影から、突然誰かに呼ばれたように感じたから。

試験問題作成用パーツ

数字(縦書き用)

縦書きにすると(1)⇒ $\widehat{1}$ になりますが、こちらを使うと(1)⇒(1)が維持されます。
コピーしてご利用ください。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

数字

問題文の間に小さく問題番号を入れる場合や、問題文に番号を表示する場合などにコピーしてご利用ください。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

活用例

一年の後、公用で旅に出、汝水のほとりに宿った時、遂に発狂した。或夜半、急に①を変えて寢床から起上ると、何か訳の分らぬことを叫びつつそのまま下にとび下りて、闇の中へ駆出した。

こちらのスライドは必要に応じて削除して下さい